



テーマ 「紫式部」

「源氏物語」の作者として有名な紫式部。大河ドラマでは紫式部が主人公の物語が始まりました。平安時代の恋愛、権力争い、生活風俗など、紫式部の生きた時代を本で体験してみませんか。




『あさきゆめみし 源氏物語』
大和和紀（講談社）

日本を代表する古典文学で、国語の教科書にも必ず登場する歴史的名作……と聞いてもなかなか最後まで読み通すことが難しい長編小説でもあります。まずは漫画でその物語の美しさ、楽しさに触れてみてはいかがでしょうか。



『平安貴族嫉妬と寵愛の作法』
繁田信一（G.B.）

「平安時代は貴族たちが優雅に暮らしていた時代」というイメージはただの一側面にすぎず、ねたみに溢れていた…全く雅ではない平安時代の作法を、後宮、暮らし、礼儀作法、年中行事、住まいなどに分けて解説します。



『紫式部の欲望』酒井順子
（集英社）

宮仕えを楽しみ切れず、なにかしら「暗く湿った部分」を持っていた紫式部。だからこそ、物語という形式で自らの欲望を重ね合わせていたと著者は考えます。共感を生む紫式部の欲望とはどんなものだったのでしょうか。

とっておきの一冊を紹介します

岡田 泉
田西 小
菜与さん 学
6年
ビブリオトーク参加者



ナニュークたちの星座

雪舟えま／文 カシワイ／絵(アリス館)

私が紹介する本は、「ナニュークたちの星座」です。舞台はとある宇宙の植民地。そこには子どもにしか見えない鉱石を採取するために作られた「ナニューク」というクローンたちがいました。37922号は、その1人です。役目を終えて宿舎を卒業した37922号は、かつての相棒を探しに都会へと旅立ちます——。

この本の魅力は、SFなのにとつきやすいところ。SFというと「なんだか読むのが大変そう」と思う人も多いと思います。でもナニュークたちの星座は、比較的話が軽く、気軽に手に取れます。ページ数も96ページと小説の中では薄く、きれいな挿絵も多いので、本が苦手な人でも読みやすいと思います。この本を読んで心に残った言葉は、「俺が光ってて自由そうに見えるって言うけど…誰でもそうなんじゃないの？（中略）みんなそれを忘れてるんだ」という言葉です。

私たちはみんな原石を持っていて、それを忘れずに生きていけば、みんな輝くことができるのです。ナニュークたちの星座、ぜひ読んでみてください！



3月の休館日

■ 休館日

日	月	火	水	木	金	土	開館時間
					1	2	▶火～金曜日
3	4	5	6	7	8	9	10:00～19:00
10	11	12	13	14	15	16	▶土・日曜日、祝日
17	18	19	20	21	22	23	10:00～17:00
24	25	26	27	28	29	30	※変更があった場合は、 図書館HPやX(旧Twitter) でお知らせします。
31							

※3月2日(土)は設備点検のため休館します。

防災人形劇&防災ワークショップ

パペットシアターゆめみトランクさんによる防災人形劇「さんびきのこぶた危機一髪！」と防災ワークショップで、防災について楽しく学びます。ぜひご参加ください。

日時 3月17日(日) 午後2時～

場所 図書館

定員 50人(先着順)

申込 2月20日(火)午前10時から受付開始。
図書館の窓口または電話でお申し込みください。